

3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12[ク  
6

連絡

受講

臨床が忙しくなり、研究とは疎遠になってしまいました。昭和六十二年に矢部教授が慶應の教授に就任し、私も手外科の一翼を担おうと翌年帰室しました。ところが、優秀な先輩後輩がひしめき、割り込む隙がありません。「前足も後足も同じだから、手の外科を止めて足の外科をやれ」と言う教授の一言で足の外科を始めました。先輩、後輩のご援助で、臨床では新しい手術法も2、3は開発でき、学会でも世界足の外科学会副会長まで務めることができました。そこで、還暦を迎える歳になり、残った時間でもう一度研究に振り向ける決心をしました。

ドック、ハートセンター、特別スポーツクリニックなどと、包括先進医療センターが移転する予定

であり、それまでには消化器内視鏡部門は現在旧館中央棟六階にある内視鏡センターと統合される予定とのことです。就任したばかりで、移転

のことまでは頭が回らないのが現状ですが、将来的には臨床腫瘍教育、がんの臨床試験のセンターとしても機能していきたいと考えております。

昭和五十二年から二年間は、スエーデンのカロリーンスカ研究所に、生体工学の手の外科領域への応用を研究するために留学しました。妻の三重も塾の理工学部を卒業し、女子医大で網膜の電気生理を研究していました。お陰様で所に留学しました。お陰様で妻を通して、理工学部や生理学教室の先生方を知る機会にも恵まれました。留学から帰った当時は生体工学の華やかな時代で、月ヶ瀬リハビリテーションセンターの研究室の研究設備に胸を躍らせました。しかし、その後は東京専売病院の整形外科部長として

問題集を回し読みし、勉強したのを懐かしく思い出します。ターフェースとしての靴や装具に着目し、昔使ったロードバイクを駆使して研究する心積もりです。宜しくご支援下さい。

(整 49回)

各地関連病院の行事、活動状態、お詫びなどお寄せ下さい。千字以内におまとめの上編集室へお送り下さい。

六月の内視鏡センターと統合され、これまでには消化器内視鏡部門は現在旧館中央棟六階にある内視鏡センターと

臨床腫瘍教育、がんの臨床試験のセンターとしても機能していきたいと考えております。

(外 50回)

## 特別研究教授に就任して

総合医科学研究センター

特別研究教授

井口 傑

(21回)が主催する整形外科

学教室に入局しました。生意気にもフレマンの時代から手の外科を目指し、外傷を中心とした臨床に没頭しておりました。6~3の小部屋で、矢

部裕講師(36回)が米国から持ち帰った手の外科専門医の

立上げにも携わり、ノバ、セルスポット、ケスラーな

一ショーンセンターの研究室の

研究設備に胸を躍らせました。しかし、その後は東京専

売病院の整形外科部長として



私は昭和四十五年に塾の医学部を卒業し、池田亀太教授

就任したばかりで、移転

のことまでは頭が回らないのが現状ですが、将来的には臨床腫瘍教育、がんの臨床試験のセンターとしても機能していきたいと考えております。

昭和五十二年から二年間は、スエーデンのカロリーンスカ研究所に、生体工学の手の外科領域への応用を研究するために留学しました。妻の三重も塾の理工学部を卒業し、女子医大で網膜の電気生理を研究していました。お陰様で所に留学しました。お陰様で妻を通して、理工学部や生理学教室の先生方を知る機会にも恵まれました。留学から帰った当時は生体工学の華やかな時代で、月ヶ瀬リハビリテーションセンターの研究室の研究設備に胸を躍らせました。しかし、その後は東京専

売病院の整形外科部長として

臨床が忙くなり、研究とは疎遠になってしまいました。昭和六十二年に矢部教授が慶應の教授に就任し、私も手外科の一翼を担おうと翌年帰室しました。ところが、優秀な先輩後輩がひしめき、割り込む隙がありません。「前足も後足も同じだから、手の外科を止めて足の外科をやれ」という教授の一言で足の外科を始めました。先輩、後輩のご援助で、臨床では新しい手術法も2、3は開発でき、学会でも世界足の外科学会副会長まで務めることができました。そこで、還暦を迎える歳になり、残った時間をもう一度研究に振り向ける決心をしました。

問題集を回し読みし、勉強したのを懐かしく思い出します。ターフェースとしての靴や装具に着目し、昔使ったロードバイクを駆使して研究する心積もりです。宜しくご支援下さい。

(整 49回)

各地関連病院の行事、活動状態、お詫びなどお寄せ下さい。千字以内におまとめの上編集室へお送り下さい。

医学部新聞編集室

工エイザイ株式会社  
〒112-0008 東京都文京区本郷2-20-1  
TEL:03-5804-5000  
FAX:03-5804-5001  
http://www.eisa.co.jp

PT0307-9 2003年7月作成